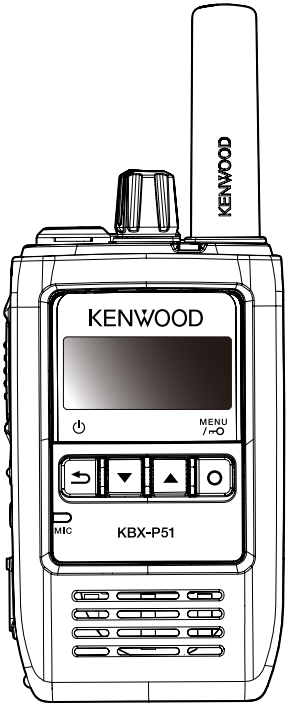
KENWOOD

KBX-P51

IP無線機

取扱説明書（詳細編）



株式会社 JVCケンウッド

B5A-5002-00_01 (J)

目次

ご使用の前に

バッテリーパック（別売品）の取り扱い 4
　バッテリーパックの取り付け 4
　バッテリーパックの取り外し 4
　接続端子の清掃 5
バッテリーパックの充電 6
　充電台 KSC-87LCR / AC アダプター KSC-45LSL を使用して充電する 6
　市販の USB Type-C™ ケーブルと USB 変換 AC アダプターで充電する 9
オプション機器の接続 (別売品) 10
　半挿しエラー警告 10
ストラップの取り付け 10
アンテナの取り付け 11
ベルトフックの使いかた 11
　ベルトフックの取り付け 11
　ベルトフックを使用した持ち運び 11

各部の名称と働き

　操作キー / ツマミ 12
　表示部 13

操作のしかた

操作説明について 16
文字入力のしかた 16
通話する 16
　通話種別について 16
　個別呼出 17
　個別呼出を受ける 17
　グループ呼出 18
Wi-Fi と接続する 19
　接続中の Wi-Fi アクセスポイントの情報を表示する 20
　アクセスポイントをスキャンして Wi-Fi アクセスポイントに接続する 20
　Wi-Fi 設定の管理をする 22
　Wi-Fi 規格を表示する 24
Bluetooth ®機器を使って通信する 25
　Bluetooth 機器とペアリングする 25
その他の基本機能 28
　バックライト機能 28
　キーロック機能 28
　ラジオモードセレクション機能 28
　無線機情報モード 29
　全初期化モード 29
　WPS モード 30
　Wi-Fi セットアップモード 30
メニューモードについて 32
　メニューモードへの入り方 32
　拡張メニューモードへの入り方 32
　メニューモード / 拡張メニューモードの操作方法 32
　メニューモード機能一覧 34
　拡張メニューモード機能一覧 35

その他

ファームウェアの更新 37
Buddycom管理コンソールについて 38
　Buddycom 管理コンソールにログインする 38
　Buddycom 管理コンソールユーザーガイドを参照する 38
　Buddycom 管理コンソールで追加できる機能について 39
故障かな？と思ったら 40
オプション一覧 41
仕様 42
FOSS ライセンス 42

目次

◆ 本書は工場出荷時の本機の設定で説明しています。設定は Buddycom コンソールで変更できます。《☞ p.38 を参照》
販売店で機能や設定を行っている場合は、使用できる機能が異なる場合があります。

説明上の注釈表記について

◆このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。

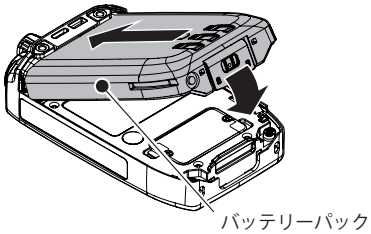
◆このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

バッテリーパック（別売品）の取り扱い

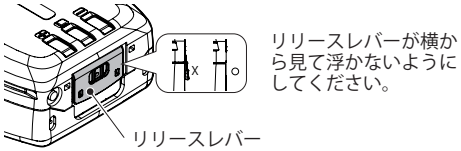
◆バッテリーパックを取り付け / 取り外すときは指を怪我しないように注意してください。また、無線機本体やバッテリーパックを落とさないように注意してください。

バッテリーパックの取り付け

1 バッテリーパック上側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、バッテリーパックを押し込みます

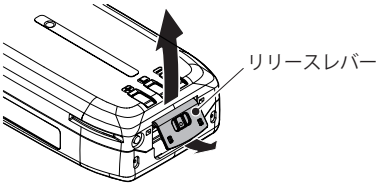


2 リリースレバーを本体にロックさせます



バッテリーパックの取り外し

1 バッテリーパックのリリースレバーを開きながら取り外します



バッテリーパックの特性について

- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電したり、無線機を使用したりすると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。
- 長期間保管後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電/放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

使用済みバッテリーパックの取り扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープなどで絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

Li-ion 20
充電式

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、弊社営業担当窓口、または販売店へお持ちください。リサイクルにご協力お願いいたします。

バッテリーパック使用時間の目安

GPS：オフ、Bluetooth：オフ、エコーモード：オフ、内蔵スピーカー出力：700mW の設定で、

送信 5/ 受信 5/ 待受け 90 の比率にて連続運用した場合

・KNB-88L：約 20 時間 (LTE で使用：Wi-Fi をオフ) / 約 30 時間 (Wi-Fi で使用：LTE をオフ)

※電波状況が悪い場合、使用時間は短くなります。

バッテリーパック残量警告

バッテリーパックの容量が減ると、表示部の「」が点滅し、LED が赤色に点滅し「プププ」と警告音が鳴ります。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。

: 十分 : 残量あり : 残量少 (点滅) : 残量なし (要充電)

バッテリーパックは出荷時には満充電されていません。使用前に必ず満充電にしてください。また、使用後も必ず充電してください。

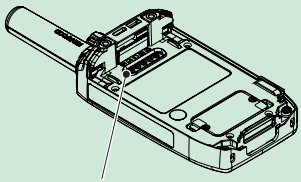
接続端子の清掃

◆バッテリーパック接続端子の清掃には、ウェットティッシュは使用しないでください。

ウェットティッシュを使用して清掃すると接触不良の原因となる場合があります。

接続端子の清掃には、乾いた綿棒を使うか、綿棒などに無水エタノール（無水アルコール）を少量含ませて、端子が変形しないようにやさしく拭いてください。

無水エタノール（無水アルコール）は薬局・薬店で市販されています。



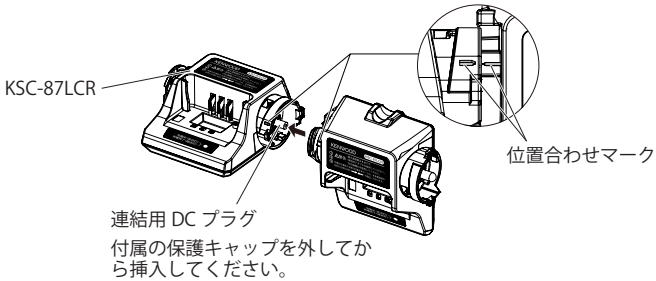
バッテリーパックの充電

充電台 KSC-87LCR / ACアダプター KSC-45LSLを使用して充電する

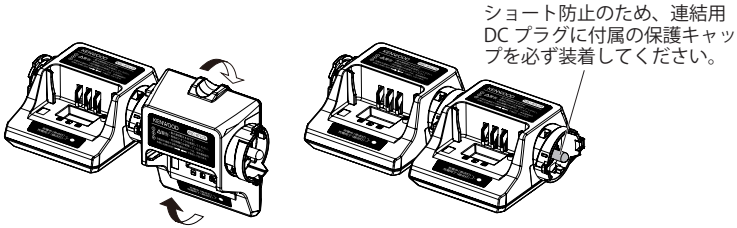
充電台の連結のしかた

充電台 KSC-87LCR は最大 6 台まで連結することができます。

1 充電台側面の凹凸を組み合わせて挿入する



2 「カチッ」と音がするまで、矢印の向きに回転させて、確実に連結する



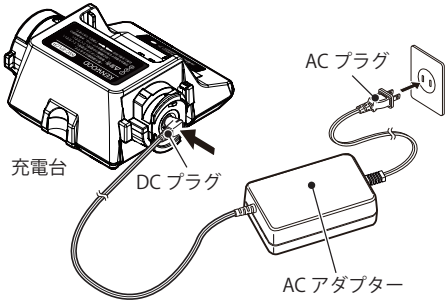
◆KSC-51LCR 、KSC-49LCR と組み合わせて連結できます。連結できるのは最大 6 台までです。
◆7 台以上の連結は絶対にしないでください。故障の原因となります。
◆連結した状態で充電台を持ち上げたり、移動したりしないでください。連結部が破損する原因となります。

充電のしかた

◆無線機を使用しながらの充電はできません。無線機を充電台に差し込むときは、必ず電源を切ってください。

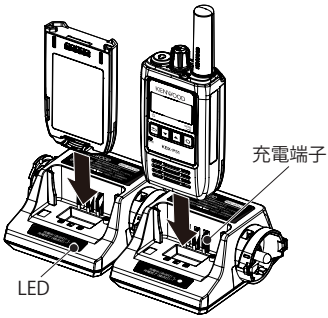
1 ACアダプターのDCプラグを充電台に接続する

2 ACプラグをコンセントに差し込む



3 バッテリーパック、またはバッテリーパックを装着した状態の無線機を充電台に差し込む

- バッテリーパックの金属端子が充電台の充電端子にしっかりと接触していることを確認してください。
- LED が赤点灯して充電が開始されます。



4 充電が完了すると、LEDが緑点灯する

バッテリーパックまたは無線機を抜き取ってください。
充電時間の目安は下記のとおりです。

- KNB-88L：約 180 分

KSC-87LCR での充電時 LED 状態表示

LED の色	状態
赤点灯	充電中であることを表します。
緑と赤が交互に点灯または点灯しない	バッテリーパックが正しく差し込まれていない場合があります。 再度差し込みなおしてください。 充電端子が接触不具合を起こしている場合があります。充電台の端子やバッテリーパックの端子を綿棒や乾いた布で拭いてから再度充電してください。 バッテリーパックの温度が充電温度範囲外になっている場合があります。一度バッテリーパックを充電台から抜き、バッテリーパックが常温になってから再度充電台に挿入してください。 それでも改善しない場合は、バッテリーパック、または充電台に何らかの不具合があります。直ちに充電を中止して、お買い上げの販売店、または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
緑点灯	充電が完了したことを表します。

◆必ず専用のバッテリーパック、充電台、AC アダプターを使用して充電してください。指定以外の機器を用いて充電すると故障の原因になります。
◆充電台や、AC アダプターまたは AC アダプターのケーブルが損傷している場合は、充電せずお買い上げの販売店にご連絡ください。
◆充電端子を金属物などでショートさせないでください。
◆コンセントから、AC アダプターを外す際は、コードではなく AC プラグを持って抜いてください。
◆充電台は、AC アダプターのケーブルを踏んだり、引っ掛けたりして、損傷したりしない場所に置いてください。
◆本体やバッテリーパックが濡れたままで充電すると、故障の原因になります。無線機本体やバッテリーパックが濡れているときは、乾いた布でよく拭き取ってから充電台に差し込んでください。
◆充電台の端子は、ゴミなどが付着しないように綿棒や乾いたやわらかい布で時々拭いてください。
◆充電台の近くで無線機を使用すると、充電台が誤動作することがあります。

市販のUSB Type-C™ケーブルとUSB変換ACアダプターで充電する

市販の USB Type-C™ ケーブルと USB 変換 AC アダプターを使用して充電できます。

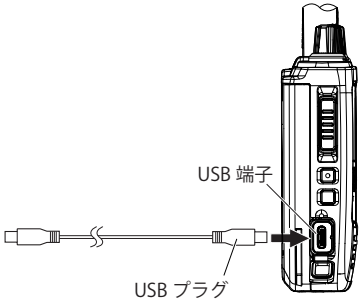
- ◆無線機を使用しながらの充電はできません。充電時は必ず電源を切ってください。
- ◆本機の USB 端子からの充電電流は最大で 1.5 A です。故障や異常発熱を避けるため、USB 変換 AC アダプターは必ず出力電圧が 5 V で、定格出力電流が 2 A 以上のものをご使用ください。その場合の充電時間は約 180 分です。
- ◆本機を USB 充電するときは、給電出力専用の USB 端子に接続してください。充給電兼用の USB 端子（モバイルバッテリーなど）との接続はしないでください。
- ◆本機は、USB PD には非対応です。USB PD 対応の USB 変換 AC アダプターを使用すると、供給される電圧は常に 5 V になります。
- ◆本機は、USB 端子からの電源供給のみでは正常に動作しません。必ずバッテリーパックを取り付けて、電源を切った状態で USB 充電を行ってください。
- ◆USB Type-C™ ケーブルの長さは 1 m 以下のものをご使用ください。また、USB Type-C™ ケーブルの定格電流は 5 A 以上のものをご使用ください。
- ◆USB 端子からの充電について、すべての USB 変換 AC アダプター、USB Type-C™ ケーブルでの動作を保証するものではありません。

1 **USB Type-C™ケーブルのUSBプラグをUSB変換ACアダプターに挿す**

2 **バッテリーパックを本体に取り付けた状態で、USB Type-C™端子の防水キャップを外す**

3 **USB端子にUSBプラグを差し込む**

充電が開始されると LED が青色に点灯します。



4 **充電が完了すると、LEDが消灯する**

無線機から USB プラグを取り外します。

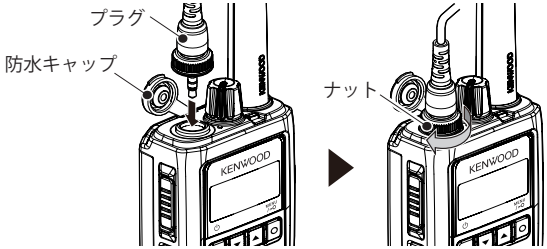
USB Type-C™ ケーブルと USB 変換 AC アダプターでの充電時の無線機 LED 状態表示

LED の色	状態
青点灯	充電中であることを表します。
青点滅	充電異常であることを表します。充電をやりなおしてください。 バッテリーパックの温度が充電温度範囲外になっている場合があります。一度 USB プラグを無線機本体から抜き、バッテリーパックが常温になってから再度 USB プラグを差し込んでください。 それでも改善しない場合は、バッテリーパック、または USB Type-C™ ケーブルや USB 変換 AC アダプターに何らかの不具合があります。直ちに充電を中止して、お買い上げの販売店、または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
消灯	充電完了であることを表します。

オプション機器の接続 (別売品)

イヤホン/ スピーカーマイクロホンなど外部機器を接続します。

防水キャップを外して、無線機の接続端子にオプション機器のプラグを差し込み、プラグのナットを時計方向 (右) に固定されるまで回して確実に取り付けます。



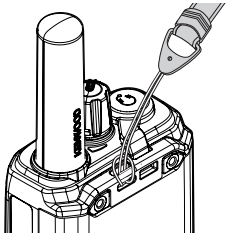
◆必ず無線機の電源を切った状態で接続してください。
◆防水キャップが正しく取り付けられていないと防水性能は保証できません。オプションを使用しないときは、防水キャップが正しく取り付けられていることを確認してください。また、オプションを接続した場合は防水性能の保証はできません。
◆断線防止のため、オプションを取り外すときは、プラグを持って取り外してください。

半挿しエラー警告

オプション機器のプラグ接続が不完全な場合を検出すると、右記の画面になりエラー音が鳴ります。接続の不具合が解消されたときエラー表示とエラー音は停止します。

ストラップの取り付け

市販品のストラップを取り付けるときは、無線機背面上部のストラップ用穴を使用してください。

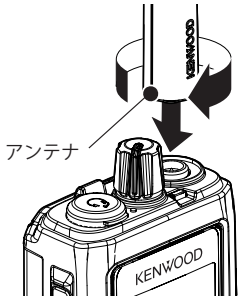


◆ストラップを持って本機を振り回したりしないでください。故障やけがの原因となります。

アンテナの取り付け

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクタに時計方向 (右) に固定されるまで回して確実に取り付けます。

アンテナの取り付けは、必ず本機の電源を切ってから行ってください。

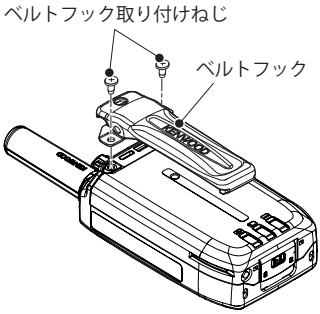


ベルトフックの使いかた

ベルトフックの取り付け

ベルトフックと本体のねじ穴を合わせて、付属のねじで取り付けます。

ベルトフックを本体のねじ穴に合わせて、ねじが緩まないようにしっかり取り付けてください。

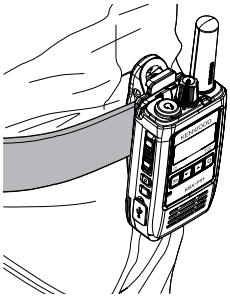


◆付属以外のねじを使用しないでください。
◆時々ねじの緩みがないか確認してください。

ベルトフックを使用した持ち運び

本機の電源を入れて使用している時は、必ずベルトフックで本機をベルトに取り付けた状態で持ち運んでください。

電源を入れたままポケットやかばんの中などに入れて、持ち運ばないようにご注意ください。

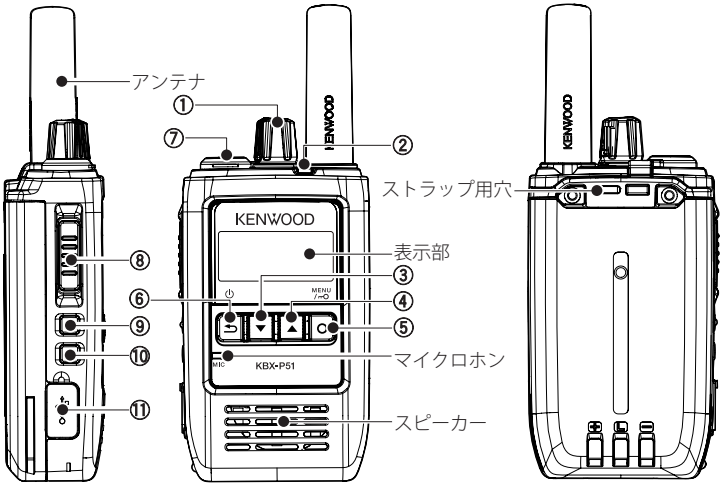


各部の名称と働き

操作キー/ツマミ

本機の【○】、【▲】、【▼】、【⮌】、【サイド 1】、【サイド 2】キーには、任意の機能を登録することができます。

◆各操作キーの動作機能は出荷時の設定です。Buddycom管理コンソールを使用して、動作機能を変更できます。《☞ p.38 を参照》



① 【音量】ツマミ

音量を調節します。

② LED

送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。

その他、無線機の設定や状態に合わせた色に点灯・点滅します。

③【▼】ダウンキー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	グループ番号が下がります。
押し続ける。	グループ番号が連続して下がります。

④【▲】アップキー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	グループ番号が上がります。
押し続ける。	グループ番号が連続して上がります。

⑤ 【○】メニューキー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	メニューを表示します。
押し続ける。	キーロック機能がオン/オフします。

⑥ 【⮌】バックキー

出荷状態で設定されている機能	
押す。	メンバーリストを表示します。
押し続ける。	本機の電源がオフの場合は KENWOOD ロゴが表示された後に、「ピーッ」と鳴り電源が入ります。電源がオンの場合は電源が切れます。

⑦ **オプション接続端子 (防水キャップ)**
イヤホン/ スピーカーマイクロホンなど外部機器を接続します。

⑧ **【PTT】スイッチ**
押すと送信します。押したままマイクロホンに向かって話します。

⑨ **【サイド1】キー**

出荷状態で設定されている機能	
押す。	機能は設定されていません。
押し続ける。	機能は設定されていません。

⑩ **【サイド2】キー**

出荷状態で設定されている機能	
押す。	機能は設定されていません。
押し続ける。	機能は設定されていません。

⑪ **USB Type-C™端子(防水キャップ)**
充電用 USB Type-C™ ケーブルを接続できます。

表示部

表示エリア	説明
アイコン表示	設定された機能の動作をアイコンで表示します。
時計	時刻を表示します。
メイン表示	グループ番号やユーザー名などを表示します。
補助領域表示	設定された機能の補助的内容を表示します。
キーガイド表示	【⮌】【▼】【▲】【O】キーを押すと起動する機能を表示部の下側に表示します。 ※表示されるキーガイドは無線機の状態で異なります。

表示可能なアイコン

アイコン	説明
	受信している LTE の電波の強さを表示します。 ：強 ：中 ：弱 ：微弱　表示なし：キャリアなし
	受信している無線 LAN（Wi-Fi）の電波の強さを表示します。 ：強 ：中 ：弱　表示なし：無線 LAN（Wi-Fi）なし
	バッテリー容量の残量を表示します。 ：高 ：中 ：低 （点滅）：早めに充電してください。
D	通信キャリアが docomo の場合に点灯します。
K	通信キャリアが KDDI の場合に点灯します。
R	受信専用チャンネルに設定されているときに点灯します。
PH	PTT ホールド機能が設定されているときに表示します。
	スキャン中に表示します。スキャン機能が一時停止中は点滅します。
#2	セカンド PTT 機能がオンのときに表示します。 セカンド PTT チャンネルを表示しているときは点滅します。
	選択しているグループまたはスキャン一時停止しているグループがスキャンの対象グループであると表示します。
	受信メッセージがあると表示します。メッセージの受信中は点滅します。
	Bluetooth 機能※がオンのときに表示します。処理中のときは点滅します。
	Bluetooth 機器※と接続中に表示します。
	GPS 機能がオンの時に表示します。位置情報を取得中または取得できないときは点滅します。
	データのダウンロード状態を表示します。 点灯：データダウンロードが完了しました。点滅：データダウンロード中です。
	定時確認（ローン・ワーカー）がオンの場合に表示します。
	エマージェンシー検知がオンの場合に表示します。
	キーロック機能がオンのときに表示します。
	サイレントアラーム機能が設定されているときに表示します。
	点滅：サイレントアラーム機能による音声ミュート状態のときに表示します。 点灯：音声ミュートをキー操作で解除したときに表示します。
ATT	音量アッテネート機能がオンのときに表示します。
	イヤホンモードがオンのときに表示します。
	VOX 機能がオンのときに表示します。
	バイブレーターの状態を表示します。 点灯：バイブレーターが ON です。点滅：バイブレーターが OFF です。
	外部スピーカーがオンのときに表示します。

※ファームウェアバージョン「J 1.20.00」以降でサポートする機能です。ファームウェアバージョンは無線機情報モードから確認できます。《☞ p.29 を参照》

◆各アイコンは、Buddycom管理コンソールで機能が設定されている場合に表示されます。《☞ p.38 を参照》

サーバー接続表示について

無線機が基地局（LTE）や Wi-Fi のアクセスポイントおよびサーバーとの接続処理を行っているときに「メイン表示」に表示されます。圏外やエラーが表示されている場合は、通話やデータの送受信が行えません。

表示内容	説明
LTE 圏外	無線機が SIM1/SIM2 での通信固定時に基地局と接続していない場合に表示されます。
Wi-Fi 未接続	無線機が Wi-Fi での通信固定時にアクセスポイントと接続していない場合に表示されます。
圏外	無線機が SIM1/SIM2 または Wi-Fi での優先通信時に基地局またはアクセスポイントと接続していない場合に表示されます。
Wi-Fi NW ERROR	Wi-Fi 回線使用時にネットワーク設定の異常を検出した場合に表示されます。
Server 接続中	無線機とサーバーの接続中に表示されます。
ログインエラー	無線機がサーバーにログインできなかった場合に表示されます。
接続エラー	無線機がログイン後、サーバーとの初期化処理に失敗した場合に表示されます。
Server 接続完了	無線機とサーバーの接続が完了した場合に表示されます。
Network Fail	一時的なネットワーク不良により無線機がサーバーとの接続に失敗した場合に表示されます。
無効グループ	無線機が所属していないグループなど、無効なグループを選択した場合に表示されます。

◆圏外になったときやサーバーとの接続完了時はビープ音がなります。

操作のしかた

操作説明について

本取扱説明書の操作説明は工場出荷時に設定されている機能を説明しています。

操作手順の説明では、操作キー（【○】キー、【音量】ツマミなど）の、「キー」、「ツマミ」を記載しません。

◆Buddycom管理コンソールを使用して、メニューモードで操作できる機能を追加し、詳細な設定をすることができます。《☞ p.38 を参照》

文字入力のしかた

Wi-Fi 接続設定での SSID 入力時など文字入力が必要な画面では、【▲】/【▼】キーで文字を選択して入力できます。

1　文字入力画面で【▲】を押す

文字パレットが表示されます。

2　【▲】/【▼】を押して、カーソルを移動し入力する文字を選択する

【▲】/【▼】を長く押すと、連続でカーソルが移動します。

3　【○】を押す

入力する文字が決定され、入力中の文字の末尾に挿入されます。

4　手順 *2*、*3* 操作を繰り返し、必要な文字を入力する

5　入力が完了したら【⮌】を押す

入力した文字を削除したい場合は【▼】を押します。

文字を追加したい場合は【▲】を押し、文字パレットを表示して入力します。

通話する

通話種別について

IP 無線機では双方向通話と単方向通話、割込み通話が使用できます。

■双方向通話

電話と同じように送信と受信を同時に行える通話種別です。最大 8 人まで同時に送信することができます。送信者が複数いる場合、その音声が同時に聞こえます。個別呼出を使用する場合は必ず双方向通話になります。グループ呼出でも使用できます。

■単方向通話

グループ内の 1 人だけ送信を行える通話種別です。グループ呼出で使用できます。グループ通話中に他に送信中のユーザーがいるときは送信を行えません。

■割込み通話

単方向通話と同様にグループ内の 1 人だけ送信を行える通話種別です。グループ呼出で使用できます。グループ通話中に他に送信中のユーザーがいる場合でも、割込み権限を持つユーザーは割込んで送信できます。割込み権限を持ったユーザーが複数人いる場合は、後から送信したユーザーが優先されます。

◆Buddycom管理コンソールを使用して、通話種別を変更できます。お使いになる通話種別にあった手順で通話をしてください。《☞ p.38 を参照》

個別呼出

通話するユーザーを指定して通話できます。個別呼出では双方向通話になります。

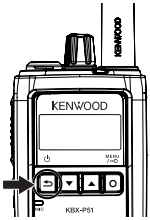
1 **【⮌】を長く押して電源を入れる**

「ピーッ」と鳴り電源が入ります。

2 **【⮌】を押す**

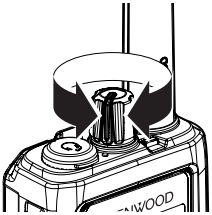
メンバーリストが表示されます。

3 **【▲】/【▼】を押して通話したい相手を選ぶ**



4 **【音量】を回して音量を調整する**

右 (時計方向) に回すと音量が大きく、左 (反時計方向) に回すと音量が小さくなります。

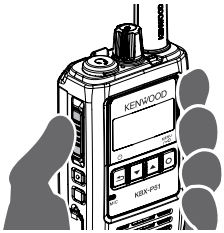


5 **【PTT】を押して送信する**

送信状態になり、LED が赤色に点灯します。

6 **【PTT】を押しながらマイクロホンに向かって話す**

マイクロホンは口元から 3 cm 以上離してください。
大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎたりすると、明瞭度が低下する場合があります。



7 **通話をつづける**

【PTT】を押して送信してください。
送信中に相手の呼び出しを受けると、スピーカーから受信音が聞こえます。**【PTT】**を離した状態でしばらくすると通話状態を解除します。

8 **【⮌】を長く押して電源を切る**

使用後は、電源を切ってください。

個別呼出を受ける

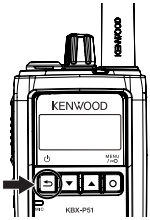
個別呼出を受けると LED が緑色に点灯し、個別呼出着信トーンが鳴ります。呼出受信中に**【PTT】**を押すと、呼び出しユーザーに対して送信を行います（トークバック）。

グループ呼出

通話するグループを指定して複数ユーザーと同時に通話を行うことができます。

1 **【⮌】を長く押して電源を入れる**

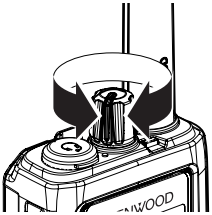
「ピーッ」と鳴り電源が入ります。



2 **【▲】/【▼】を押して、通話するグループを選択する**

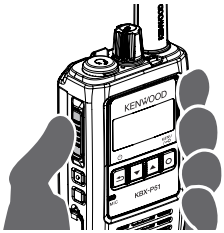
3 **【音量】を回して音量を調整する**

右 (時計方向) に回すと音量が大きく、左 (反時計方向) に回すと音量が小さくなります。



4 **【PTT】を押して送信する**

送信状態になり、LED が赤色に点灯します。
単方向通話時は、LED が消灯していることを確認してから送信してください。LED が緑色に点灯時は他のユーザーが送信中です。
割込み通話の権限がある場合は、他のユーザーが送信していても、割り込んで送信を行えます。
双方向通話時は他のユーザーが送信中でも同時に送信できます。



5 **【PTT】を押しながらマイクロホンに向かって話す**

マイクロホンは口元から 3 cm 以上離してください。
大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎたりすると、明瞭度が低下する場合があります。

6 **相手の音声を受信する**

【PTT】を離すと待受状態になります。相手の呼び出しを受けると、LED が緑色に点灯して着信トーンが鳴り、スピーカーから受信音が聞こえます。
双方向通話時は、自分が送信中でも相手が送信し、受信すると相手の音声が聞こえます。

7 **通話をつづける**

【PTT】を押して送信してください。
双方向通話時は【PTT】を離した状態でしばらくすると通話状態を解除します。

8 **【⮌】を長く押して電源を切る**

使用後は、電源を切ってください。

Wi-Fi と接続する

無線機と Wi-Fi アクセスポイントを接続して通信できます。

対応するWi-Fi仕様

無線 LAN 規格：802.11a/b/g/n/ac

周波数帯：2.4GHz、5GHz

暗号化方式：Enhanced Open、WPA2-Personal、WPA3-Personal

「2.4」　：2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。

「DS」　：変調方式を表します (DS-SS 方式)。

「OF」　：変調方式を表します (OFDM 方式)。

「4」　：想定干渉距離を表します (40 m 以下)。

「 ━━━ 」: 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア局の帯域を回避可能であることを意味します。

無線LAN（Wi-Fi）機能による電波干渉についてのご注意

本機の無線 LAN（Wi-Fi）機能を使用するときは、下記の内容についてご注意ください。

2.4 GHz 無線LAN（Wi-Fi）使用上の注意事項

- 本機が使用できるチャネル番号は Ch1 ～ Ch13 です。
- 無線 LAN（Wi-Fi）に使用される 2.4 GHz 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア局が運用されています。
- 本機の無線 LAN（Wi-Fi）機能をオンする前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、2.4 GHz 帯のアマチュア局など (以下「他の無線局」という) が運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本機の無線 LAN（Wi-Fi）機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変更するか、本機の無線 LAN（Wi-Fi）機能をオフしてください。
- その他、本機の無線 LAN（Wi-Fi）機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生するなどお困りの場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

5 GHz 無線LAN（Wi-Fi）使用上の注意事項

- 使用上の注意事項 と Wi-Fi 規格のラベルは本機の画面に表示して確認できます。《☞ p.24 を参照》
- 5 GHz の周波数帯については、5.2 GHz 帯、5.3 GHz 帯、5.6 GHz 帯 (W52,W53, W56) の帯域を使用できます。本機が使用できる周波数帯域とチャネル番号は次のとおりです。
  - W52(Ch36, Ch40, Ch44, Ch48)
  - W53(Ch52, Ch56, Ch60, Ch64)
  - W56(Ch100, Ch104, Ch108, Ch112, Ch116, Ch120, Ch124, Ch128, Ch132, Ch136, Ch140, Ch144)
- 電波法により W53 は屋外および自動車内での利用は禁止されています。
- W52 を自動車内や屋外で使用されるには条件を満たす必要があります。お客様の目的に応じた最新の利用条件を総務省のサイトでご確認の上、ご使用いただけますようお願いいたします。
- 本機は無線 LAN（Wi-Fi）端末（子局）です。

総務省 電波利用ポータルサイト：https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/others/wlan_outdoor/

接続中のWi-Fiアクセスポイントの情報を表示する

1 **【○】を押してメニューに入る**

メニューモードのカテゴリーアイコンが表示されます。

2 **カテゴリーアイコンの「⚙」を選択し、【○】を押す**

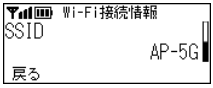
3 **【▲】/【▼】で、設定項目の「Wi-Fi接続」を表示させ、【○】を押す**

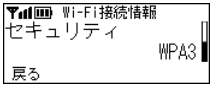
4 **【▲】/【▼】で、「接続情報：XXXXXX」を選択し、【○】を押す**

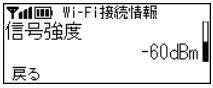
「XXXXXX」には接続先名が表示されます。Wi-Fi に接続していない場合は「接続情報なし」と表示されます。

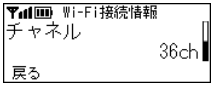
5 **【▼】を押して表示を切り替え**

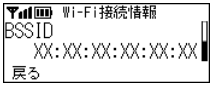
【▼】を押すごとに、「SSID」→「セキュリティ」→「信号強度」→「チャネル」→「BSSID」→「IP アドレス」→「ネットマスク」→「ゲートウェイ」の順に表示が変わります。【▲】を押すと一つ前の情報に戻ります。

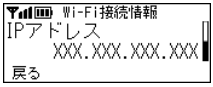


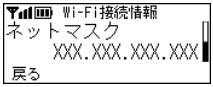


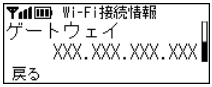












アクセスポイントをスキャンしてWi-Fiアクセスポイントに接続する

周辺のアクセスポイントをスキャンして、接続できます。

1 **【○】を押してメニューに入る**

メニューモードのカテゴリーアイコンが表示されます。

2 **カテゴリーアイコンの「⚙」を選択し、【○】を押す**

3 **【▲】/【▼】で、設定項目の「Wi-Fi接続」を表示させ、【○】を押す**

4 **【▲】/【▼】で、「Wi-Fiスキャン」を選択し、【○】を押す**

スキャンが開始され、完了するとアクセスポイント一覧（SSID）が表示される

信号強度および認証の有無がアイコンで表示されます。

アイコン	ステータス
	強電界＋認証あり
	中電界＋認証あり
	弱電界＋認証あり
	強電界＋認証なし
	中電界＋認証なし
	小電界＋認証なし

5 **アクセスポイント一覧から接続するアクセスポイントを選択し、【○】を押す**

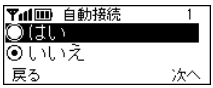
選択したアクセスポイントのセキュリティが本機で非対応の場合はエラー音が鳴ります。他のアクセスポイントを選択してください。
アクセスポイントを選択し、**【○】**を長く押すとアクセスポイントの詳細情報を表示します。

6 **パスワードを入力し、【○】を押す**

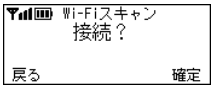
認証なしのアクセスポイントを選択した場合は、パスワード入力画面は表示されません。
次の手順に進んでください。

7 **【▲】/【▼】で、「はい」または「いいえ」を選択し、【○】を押す**

「はい」を選択すると、アクセスポイントと非接続になった場合に自動的に再接続を行います。



8 **接続確認画面で【○】を押す**



接続が開始されます。接続が完了すると接続完了画面が表示されます。

◆WPS 機能を使用してアクセスポイントに接続することもできます。《☞ p.30 を参照》

Wi-Fi設定の管理をする

Wi-Fiアクセスポイントの情報を手動で追加する

アクセスポイントの情報を手動で入力して追加できます。

1 【○】を押してメニューに入る

メニューモードのカテゴリーアイコンが表示されます。

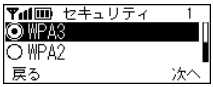
2 カテゴリーアイコンの「⚙」を選択し、【○】を押す

3 【▲】/【▼】で、設定項目の「Wi-Fi設定管理」を表示させ、【○】を押す

4 【▲】/【▼】で、「追加」を選択し、【○】を押す

5 SSIDを入力し、【○】を押す

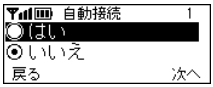
6 使用するセキュリティを選択し、【○】を押す



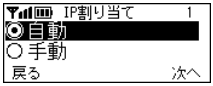
7 パスワードを入力し、【○】を押す

8 【▼】/【▲】で、「はい」または「いいえ」を選択し、【○】を押す

「はい」を選択すると、アクセスポイントと非接続になった場合に自動的に再接続を行います。

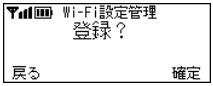


9 【▼】/【▲】で、「自動」または「手動」を選択し、【○】を押す



「手動」を選択した場合は、「IP アドレス」「ネットマスク」「ゲートウェイ」「プライマリ DNS」「セカンダリ DNS」を手動で入力します。

10 登録確認画面で【○】を押す



登録が完了します。

登録済みのアクセスポイントの設定を編集する

1 【○】を押してメニューに入る

メニューモードのカテゴリーアイコンが表示されます。

2 カテゴリーアイコンの「⚙」を選択し、【○】を押す

3 【▲】/【▼】で、設定項目の「Wi-Fi設定管理」を表示させ、【○】を押す

4 編集したいアクセスポイントを選択し、【○】を押す

5 【▲】/【▼】で、「編集」を選択し、【○】を押す

6 編集したい項目を選択し、【○】を押す

「SSID」「セキュリティ」「パスワード」「自動接続」「IP 割り当て」「IP アドレス」「ネットマスク」「ゲートウェイ」「プライマリ DNS」「セカンダリ DNS」から選択できます。

7 各項目を編集する

登録済みのアクセスポイントの設定を削除する

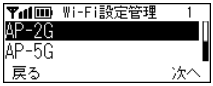
1 【○】を押してメニューに入る

メニューモードのカテゴリーアイコンが表示されます。

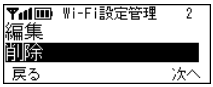
2 カテゴリーアイコンの「⚙」を選択し、【○】を押す

3 【▲】/【▼】で、設定項目の「Wi-Fi設定管理」を表示させ、【○】を押す

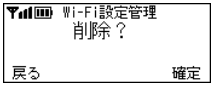
4 削除したいアクセスポイントを選択し、【○】を押す



5 【▼】/【▲】で、「削除」を選択し、【○】を押す



6 削除確認画面で【○】を押す



アクセスポイントの設定が削除されます。

Wi-Fi規格を表示する

5GHz 帯無線 LAN の使用上の注意事項や Wi-Fi 規格ラベルを表示します。

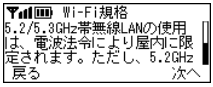
1 【○】を押してメニューに入る

メニューモードのカテゴリーアイコンが表示されます。

2 カテゴリーアイコンの「⚙」を選択し、【○】を押す

3 【▲】/【▼】で、設定項目の「Wi-Fi規格」を表示させ、【○】を押す

使用上の注意事項が表示されます。



4 【○】を押す

Wi-Fi 規格ラベルが表示されます。

Bluetooth®機器を使って通信する

本機のBluetooth機能を有効にすることで、弊社指定のBluetooth対応機器と接続することができます。

◆本機能はファームウェアバージョン「J 1.20.00」以降でサポートする機能です。サポート前は操作しないでください。ファームウェアバージョンは無線機情報モードから確認できます。《☞ p.29を参照》

本機で接続できるBluetooth対応機器

本機に接続可能な Bluetooth 対応機器については、下記の URL および右記の QR コードからご覧ください。

https://www.kenwood.com/jp/support/com/wireless-headset/

Bluetooth機器とペアリングする

ペアリングとは、無線機と Bluetooth 対応機器の機器設定をお互いに登録する機能です。一度ペアリングした Bluetooth 機器とは、再びペアリングする必要はありません。

弊社指定 Bluetooth 対応機器 KHS-56BT との接続を例に説明します。

【無線機のBluetooth機能をオンにする】

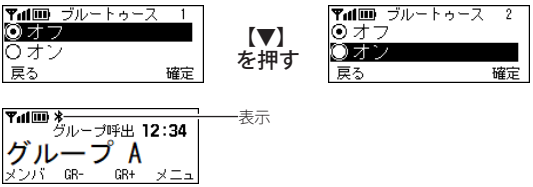
1 **【○】を押してメニューに入る**

メニューモードのカテゴリーアイコンが表示されます。

2 **カテゴリーアイコンの「✱」を選択し、【○】を押す**

3 **【▼】/【▲】で、設定項目の「ブルートゥース」を表示させ、【○】を押す**

4 **【▼】/【▲】で、「オン」を選択し、【○】を押す**

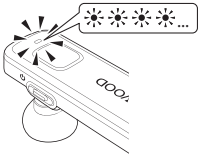


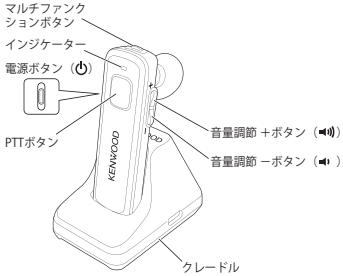
Bluetooth 機能が起動し、アイコン「✱」が表示されます。

【KHS-56BTをペアリングモードにする】

1 **KHS-56BTの電源ボタンをインジケーターが点滅するまで押す (約5秒間)**

インジケーターが速く点滅しないときはいったん電源を切って、やり直してください。





<KHS-56BT 各部の名称 >

【無線機からKHS-56BTをペアリングする】

1 **【○】を押してメニューに入る**

メニューモードのカテゴリーアイコンが表示されます。

2 **カテゴリーアイコンの「ᛒ」を選択し、【○】を押す**

3 **【▼】/【▲】で、設定項目の「BT機器」を表示させ、【○】を押す**

Bluetooth 機器設定項目名が表示されます。

4 **【▼】/【▲】で、「BT機器検索」を選択し、【○】を押す**

5 **Bluetooth機器の検索を開始し、検出するとBluetooth機器を表示するので選択し、【○】を押す**

6 **接続確認メッセージが表示されるので、【○】を押し接続処理を実行する**

7 **接続完了すると接続完了のメッセージとアイコン「ᛒ」が表示される**

KHS-56BT は接続完了後、インジケーターが消灯します。

8 **以降は、Bluetooth機能オンで、自動的に接続される**

◆最大 10 台の Bluetooth 対応機器をペアリング登録できます。すでに 10 台登録されているときにペアリングをおこなうと、最も古く登録、または接続した Bluetooth 対応機器の登録を解除し、新しい Bluetooth 対応機器を登録します。

2.4FH4

「2.4」　：2.4 GHz 帯を使用する無線設備を表します。

「FH」　：変調方式を表します (FHSS: 周波数ホッピング・スペクトラム拡散方式)。

「4」　：想定干渉距離を表します (40 m 以下)。

「 ▬▬▬ 」：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア局の帯域を回避可能であることを意味します。

Bluetooth 機能による電波干渉についてのご注意

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、下記の内容についてご注意ください。

- Bluetooth に使用される 2.4 GHz 帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア局が運用されています。

本機の Bluetooth 機能を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

- 本機の Bluetooth 機能をオンする前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、2.4 GHz 帯のアマチュア局など (以下「他の無線局」という) が運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本機の Bluetooth 機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変更するか、本機の Bluetooth 機能をオフしてください。
- その他、本機の Bluetooth 機能により「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生するなどお困りの場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG,Inc. が所有権を有します。
株式会社 JVCケンウッドは使用許諾のもとでこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

その他の基本機能

その他、出荷時に設定されている基本機能について説明します。

バックライト機能

LCD のバックライトを点灯させる機能です。暗い場所で LCD 表示を見ることができます。

【PTT】以外の操作キーを操作すると表示部が 5 秒間点灯します。

キーロック機能

【PTT】/【音量】以外の操作キーに登録した機能をロックし、持ち運び時などの誤操作を防ぎます。

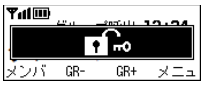
1 【O】を長く押す

「🔑」アイコンが表示され、キーロックのポップアップが表示されてキー操作がロックされます。キーロック中にキーを操作するとビープ音が鳴り、キーロックのポップアップが表示されます。

2 【O】を長く押す

「🔑」アイコンの表示がなくなり、キーロック解除のポップアップが表示されてキー操作のロックが解除されます。

キーロック動作時



キーロック解除時

ラジオモードセレクション機能

ラジオモードセレクションは、各モードをリスト形式で表示する機能です。

ラジオモードセレクションの操作方法

1 無線機の電源を切る

2 【サイド2】を押しながら無線機の電源を入れる

ラジオモードセレクションに入り、機能リストが表示されます。

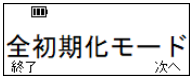
機能リストは以下のモードが表示されます。

- Transceiver Info ： 無線機情報モード
- Expanded Menu ： 拡張メニューモード
- All Reset ： 全初期化モード
- Self Test ： 自己診断モード※
- Wi-Fi WPS ： WPS モード
- Wi-Fi Setup ： Wi-Fi セットアップモード

※ 工場出荷時の設定では自己診断モードは「無効」となります。 Buddycom管理コンソールで「有効」に設定すると使用できます。《☞ p.38 を参照》

3 **【▼】/【▲】で、モードを選択し、【○】を押す**

選択したモードに移行します。



4 **終了するには**

ラジオモードセレクションを終了するには、無線機の電源を切ってから、再度電源を入れます。

無線機情報モード

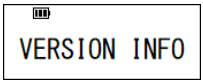
無線機に書き込まれているファームウェアバージョンを表示させる機能です。

ラジオモードセレクションからも起動することができます。《☞ p.28 を参照》

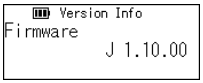
1 **無線機の電源を切る**

2 **【サイド1】を押しながら無線機の電源を入れる**

無線機情報モードに入り、「VERSION INFO」と 2 秒間表示した後、ファームウェアバージョンが表示されます。



2秒後



【無線機情報モード起動画面】　【ファームウェアバージョン表示画面】

3 **終了するには**

無線機情報モードを終了するには、無線機の電源を切ってから、再度電源を入れます。

全初期化モード

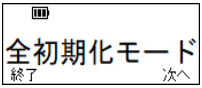
無線機の各設定を、購入時の設定値に戻すことができる機能です。

ラジオモードセレクションからも起動することができます。《☞ p.28 を参照》

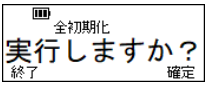
1 **無線機の電源を切る**

2 **【サイド1】と【サイド2】を押しながら無線機の電源を入れる**

全設定初期化モードに入ります。



3 **【○】を押す**



全初期化確認画面で、「実行しますか？」と表示されます。

4 **【○】を押す**

全設定初期化を実行し、無線機が再起動します。
【PTT】または【⮌】を押すと、無線機は初期化されずに再起動します。

WPSモード

WPS モードとは、無線機と無線 LAN アクセスポイントを WPS（Wi-Fi Protected Setup）で接続する機能です。WPS モードでは「WPS-PBC 方式」を使用します。対応したアクセスポイントとの接続で使用できます。

ラジオモードセレクションからも起動することができます。《☞ p.28 を参照》

1 **無線機の電源を切る**

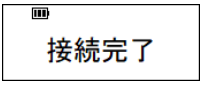
2 **【サイド1】と【○】を押しながら無線機の電源を入れる**

WPS モードが起動します。

WPS 動作は 10 秒でタイムアウトします。

3 **接続するアクセスポイント側でWPSボタンを押すなどの操作をする**

接続が完了するとネットワーク接続音が鳴り、画面に「接続完了」が表示されます。



4 **終了するには**

WPS モードを終了するには、無線機の電源を切ってから、再度電源を入れます。

◆アクセスポイントの操作は、接続するアクセスポイントの取扱説明書などを参照してください。

Wi-Fiセットアップモード

Wi-Fi セットアップモードとは､Wi-Fi を設定済みの無線機から他の無線機に Wi-Fi 設定を配布（送受信）する機能です。設定の配布は認証情報を共有している無線機間でのみ行えます。複数の無線機に配布することもできます。

ラジオモードセレクションからも起動することができます。《☞ p.28 を参照》

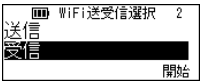
1 **無線機の電源を切る**

Wi-Fi 設定を送信 / 受信するすべての無線機の電源を切ります。

2 **【▲】を押しながら無線機の電源を入れる**

すべての無線機で【▲】を押しながら電源を入れます。
WiFi 送受信選択画面が表示されます。

3 **受信をする無線機で、【▲】/【▼】で「受信」を選択し、【○】を押す**

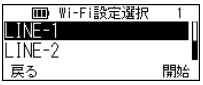


無線機が受信中になります。受信中は LED が紫色に点滅します。
複数台の無線機で受信する場合は、対象の無線機をすべて受信中にします。
受信を停止する場合は【⮌】を押します。

4 **送信をする無線機で、【▼】/【▲】で「送信」を選択し、【○】を押す**

Wi-Fi 設定選択画面が表示されます。

5 **【▼】/【▲】で送信するWi-Fi設定を選択し、【○】を押す**



送信動作が開始されます。送信中は LED が水色に点滅します。
複数の無線機に送信する場合は、受信状態を検出した無線機に 1 台ずつ順番に送信します。
送信を停止する場合は【⮌】を押します。

6 **受信をする無線機で、受信が完了したことを確認する**

受信が完了すると無線機が再起動し、設定が反映されます。

7 **すべての受信する無線機での受信が完了したら、送信側の無線機の電源を切る**

メニューモードについて

メニューモードはメニュー形式で機能を選択し、実行することができるモードです。

2 つのメニューモードがあり、普段使用する機能はメニューモードを使用し、あまり使わない機能は拡張メニューモードを使用するなどの使い分けができます。

◆各メニューモードの機能設定一覧は、工場出荷時の設定です。
◆メニューモードの操作中に通話やデータの受信をした場合はメニューモードの画面のまま受信をします。【⮌】を押すと、受信内容ごとの画面が表示されます。
◆拡張メニューモードの操作中は、電波の送受信が停止されます。通話やデータの送受信を行うことはできません。

メニューモードへの入り方

1 **【O】を押す**

メニューモードに入り、カテゴリーアイコンが表示されます。

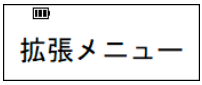
拡張メニューモードへの入り方

ラジオモードセレクションからも起動することができます。《☞ p.28 を参照》

1 **無線機の電源を切る**

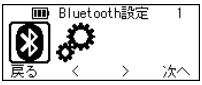
2 **【O】を押しながら電源を入れる**

拡張メニューの起動画面を表示し、2 秒経過または、いずれかのキーを押すとカテゴリーアイコンが表示されます。



【拡張メニュー起動画面】

2秒後



【カテゴリーアイコン表示画面】

メニューモード / 拡張メニューモードの操作方法

以下は Bluetooth 設定※を使用する場合の操作例です。

※ファームウェアバージョン「J 1.20.00」以降でサポートする機能です。ファームウェアバージョンは無線機情報モードから確認できます。《☞ p.29 を参照》

1 **【▼】/【▲】で、カテゴリーアイコンの「ᛒ」を選択し、【O】を押す**

【O】
を押す

機能リストが表示されます。

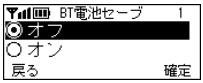
2 **【▼】/【▲】で、機能を選択し、【O】を押す**

【▼】
を押す

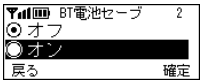
【O】
を押す

選択した機能の設定値が表示されます。

3 【▼】/【▲】で、設定値を選択し、【○】を押す



【▼】
を押す



【○】
を押す

4 終了するには

メニューモードを終了するには、【⮌】を押すとグループ表示画面に戻ります。
拡張メニューモードを終了するには、無線機の電源を切ってから、再度電源を入れます。

メニューモード機能一覧

出荷時、メニューモードには以下の機能設定項目が登録されています。

Wi-Fi 接続 34
Wi-Fi 設定管理 34
ブルートゥース 34
BT 電池セーブ 34
BT 機器 34
BT 情報 34
BT リセット 34
BT スピーカー 35

機能項目表示	機能説明	
設定値	設定値説明	設定画面表示
Wi-Fi接続	Wi-Fi の接続情報の確認や手動で Wi-Fi への接続ができます。《☞ p.19 を参照》	
Wi-Fi 接続情報	接続中のアクセスポイントの詳細情報を表示します。 ※ Wi-Fi 接続のリスト上は接続しているアクセスポイントの SSID を表示します。接続先が無い場合は「接続情報なし」と表示されます。	Wi-Fi接続 1 接続情報: AP-5G Wi-Fiスキャン 戻る 次へ
Wi-Fi スキャン	近くのアクセスポイントをスキャンし、接続します。	
SSID 指定接続	アクセスポイントの SSID を手動で入力して接続します。	
Wi-Fi設定管理	接続先アクセスポイントの管理をします。《☞ p.22 を参照》	
Wi-Fi 設定	登録されている Wi-Fi 設定をすべて表示します。各設定の編集や削除を行えます。 ※ Wi-Fi 設定のリスト上は登録されているアクセスポイントの SSID を表示します。	Wi-Fi設定管理 1 AP-2G 追加 戻る 次へ
追加	Wi-Fi 設定を追加できます。	
Wi-Fi規格	5GHz帯無線LANの使用上の注意事項を表示します。Wi-Fi規格のロゴも表示できます。《☞ p.24 を参照》	
ブルートゥース※	内蔵 Bluetooth 機能を有効または無効にします。《☞ p.25 を参照》	
オフ	Bluetooth 機能が停止します。	ブルートゥース 1 ◉オフ ○オン 戻る 確定
オン	Bluetooth 機能が起動します。	
BT電池セーブ※	接続しているワイヤレスヘッドセットの電池の消費を抑える機能です。この機能を有効にすると、通話時に頭切れが発生することがあります。送信時は一呼吸おいてから通話を開始してください。	
オフ	BT 電池セーブ機能が停止します。	BT電池セーブ 1 ◉オフ ○オン 戻る 確定
オン	BT 電池セーブ機能が起動します。	
BT機器※	無線機に接続する Bluetooth 対応機器を検索して接続することができます。	
登録済機器	登録済みの Bluetooth 対応機器を表示します。	BT機器 1 登録済機器 BT機器検索 戻る 次へ
BT 機器検索	Bluetooth 対応機器を検索します。	
BT情報※	Bluetooth 情報モードに入ります。	
Bluetooth 情報モード	無線機に設定されている Bluetooth 機器アドレスを確認することができます。	BT情報 BTアドレス AABBCCEE99AA 戻る

BTスピーカー※	無線機とヘッドセットプロファイルで接続している Bluetooth 対応機器のスピーカーと、無線機の内部スピーカーとのあいだで音声の出力先を切り替えます。 Bluetooth 対応機器と接続中の場合に切り替え可能となります。	
オフ	無線機の内部スピーカーに出力します。	BTスピーカー 1 ◉オフ ○BTのみ 戻る 確定
BT のみ	Bluetooth 対応機器のスピーカーに出力します。	

※ファームウェアバージョン「J 1.20.00」以降でサポートする機能です。ファームウェアバージョンは無線機情報モードから確認できます。《☞ p.29 を参照》

◆表示されるメニューの項目やカテゴリーは設定により異なります。

拡張メニューモード機能一覧

出荷時、拡張メニューモードには以下の機能設定項目が登録されています。

電池情報表示 35
ブルートゥース 35
BT 電池セーブ 35
BT 機器 35
BT 情報 35
回線設定 36
メンテナンス 36
SIM スロット情報 36
Factory Reset 36

機能項目表示	機能説明	
設定値	設定値説明	設定画面表示
電池情報表示	電池の詳細情報を確認できます。	
電池情報	電池の消耗の度合い、動作温度等の確認が行えます。	電池情報 残容量 62% 状態 69% 戻る
ブルートゥース※	内蔵 Bluetooth 機能を有効または無効にします。《☞ p.25 を参照》	
オフ	Bluetooth 機能が停止します。	ブルートゥース 1 ◉オフ ○オン 戻る 確定
オン	Bluetooth 機能が起動します。	
BT電池セーブ※	接続しているワイヤレスヘッドセットの電池の消費を抑える機能です。この機能を有効にすると、通話時に頭切れが発生することがあります。送信時は一呼吸おいてから通話を開始してください。	
オフ	BT 電池セーブ機能が停止します。	BT電池セーブ 1 ◉オフ ○オン 戻る 確定
オン	BT 電池セーブ機能が起動します。	
BT機器※	無線機に接続する Bluetooth 対応機器を検索して接続することができます。	
登録済機器	登録済みの Bluetooth 対応機器を表示します。	BT機器 1 登録済機器 BT機器検索 戻る 次へ
BT 機器検索	Bluetooth 対応機器を検索します。	
BT情報※	Bluetooth 情報モードに入ります。	
Bluetooth 情報モード	無線機に設定されている Bluetooth 機器アドレスを確認することができます。	BT情報 BTアドレス AABBCCEE99AA 戻る

回線設定	LTE と Wi-Fi の切替方法を設定します。設定できる項目はご契約の回線プランにより異なります。設定を変更した場合は【◯】を押して無線機を再起動する必要があります。	
SIM1 固定	SIM1 の LTE 回線での通信のみ使用します。	
SIM1 優先	SIM1 の LTE 回線での通信を優先します。SIM1 の LTE 回線の電波状況が悪い場合に、SIM2 の回線または Wi-Fi 回線を使用します。	
SIM2 固定	SIM2 の LTE 回線での通信のみ使用します。	
SIM2 優先	SIM2 の LTE 回線での通信を優先します。SIM2 の LTE 回線の電波状況が悪い場合に、SIM1 の回線または Wi-Fi 回線を使用します。	
Wi-Fi 固定	Wi-Fi 回線のみ使用します。	
Wi-Fi 優先	Wi-Fi の回線での通信を優先します。Wi-Fi の電波状況が悪い場合に、SIM1 の回線または SIM2 の回線を使用します。	
メンテナンス	LTE および Wi-Fi の接続に関する詳細情報を表示します。	
詳細情報 LTE	LTE 接続に関する詳細情報を表示します。	
詳細情報 Wi-Fi	Wi-Fi 接続に関する詳細情報を表示します。	
SIM 情報	SIM スロットの IMEI、ICCID 情報を表示します。	
SIM スロット 1	SIM スロット 1 の情報を表示します。【◯】を押すごとに IMEI と ICCID の表示が切り替わります。	
SIM スロット 2	SIM スロット 2 の情報を表示します。【◯】を押すごとに IMEI と ICCID の表示が切り替わります。	
Factory Reset	IP 無線機の各状態を工場出荷時と同じ状態に戻します。	
Factory Reset	【◯】を押すと、Factory Reset が実行されます。 Factory Reset を行うと IP 無線機の設定内容などが工場出荷時の状態に戻ります。 ※バージョンアップ済みのファームウェアやサーバーログイン情報などは Factory Reset では削除されません。	

※ファームウェアバージョン「J 1.20.00」以降でサポートする機能です。ファームウェアバージョンは無線機情報モードから確認できます。《☞ p.29 を参照》

◆表示されるメニューの項目やカテゴリーは設定により異なります。

ファームウェアの更新

サーバーからファームウェアをダウンロードして、無線機のファームウェアを書き換えできます。

ネットワークを利用して、本機のファームウェア更新が必要かどうかを確認します。

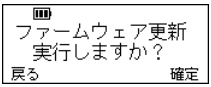
1　ファームウェアをダウンロードする

更新可能なファームウェアがある場合、自動的にダウンロードされます。ダウンロード中は「 」のアイコンが点滅し、ダウンロードが終了すると点灯にかわります。

2　ファームウェアのダウンロード後に無線機の電源を切る

3　無線機の電源を入れる

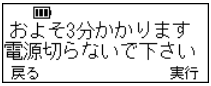
ファームウェア更新の選択画面が表示されます。



ファームウェアを更新せずに無線機を使用するには、【⮌】を押します。

4　【O】を押す

更新の確認画面が表示されます。



【⮌】を押すとファームウェア更新の選択画面に戻ります。

5　【O】を押す

ファームウェアの更新が開始され、LED が緑に点灯します。

- ◆ファームウェアのダウンロード中も無線機を使用できます。
- ◆ファームウェア更新には、3 分程度かかる場合があります。更新が完了するまで、無線機は使用できません。
- ◆ファームウェア更新を開始する前に電池残量が十分かご確認ください。電池残量が不足している場合はメッセージが表示されますので、充電後に再度開始してください。
- ◆ファームウェアのダウンロード中に圏外になった場合は、ダウンロードが中止され、ネットワークに復帰後にダウンロードが自動でやり直しされます。
- ◆ファームウェア更新中に絶対にバッテリーパックを取り外さないでください。更新が失敗することがあります。
- ◆ファームウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合はお買い上げの販売店もしくは、JVCケンウッド カスタマーサポートセンターへご連絡ください。

Buddycom管理コンソールについて

Buddycom管理コンソール（Web ツール）を使用して、本機の動作機能を変更できます。

・「Buddycom(バディコム)」および Buddycomロゴは、株式会社サイエンスアーツの登録商標です。

Buddycom管理コンソールにログインする

1 **パソコンのブラウザから「 https://console.buddycom.net 」にアクセスする**

パソコンからのみアクセスできます。

2 **ログイン画面でログインID、パスワードを入力し、「ログインする」をクリックする**

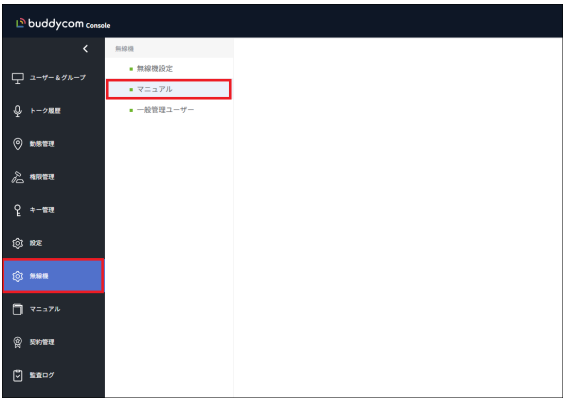
購入時に販売店よりお知らせされるログイン情報が必要となります。
不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

Buddycom 管理コンソールのトップ画面が表示されます。

Buddycom管理コンソールユーザーガイドを参照する

詳しい操作や設定できる機能の詳細は「Buddycom管理コンソール ユーザーガイド KBX-P51/KBX-P51SA 設定編」をご覧ください。

1 **Buddycom管理コンソールのトップ画面で、「無線機」をクリックし、「マニュアル」をクリックする**



「Buddycom管理コンソール ユーザーガイド KBX-P51/KBX-P51SA 設定編」が表示されます。

Buddycom管理コンソールで追加できる機能について

- GPS
- EMC-16 (イヤホン付きクリップマイクロホン) の PTT/ PF キー入れ替え設定
- 電池機能
- 履歴機能
- メッセージ通信機能
- 最小 / 最大音量設定機能
- エコーモード
- 通話内容の録音・再生機能
- キャリア表示機能
- SIM スロット情報表示機能
- 緊急速報受信機能
- VOX
- Bluetooth 電池セーブ機能※
- イヤホンモード設定
- 通話開始トーン / 終話トーン
- キー操作割り当て
- 音声アナウンス機能
- キー操作音設定
- 各種トーン音量設定
- 着信トーン編集
- キーロック機能設定
- スーパーロック機能設定
- 外部スピーカー設定
- カスタマイズ可能な電源オンメッセージ機能
- 本体および KMC-55 (オプションスピーカーマイクロホン) のキーカスタマイズ設定
- PTT ホールド機能
- サイレントアラーム機能
- エマージェンシー機能
- メニューモード項目追加 / 削除設定機能
- メニューモード / 拡張メニューモード項目追加 / 削除設定機能
- Wi-Fi 無線設定
- 自己診断モード

※ファームウェアバージョン「J 1.20.00」以降でサポートする機能です。ファームウェアバージョンは無線機情報モードから確認できます。《☞ p.29 を参照》

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない。	電池の容量が低下している。	バッテリーパックを充電する。	p.6
		バッテリーパックを交換する。	p.4
通話ができない。 「無効グループ」が表示される。	ユーザーまたはグループ設定が違っている	通話可能なユーザー、グループを選択する。	p.15 p.16
「圏外」が表示される。 「LTE 圏外」が表示される。	LTE 通信の圏外になっている。	場所を移動するなどして、LTE 電波の受信状況が良い状態で通話する。	p.14 p.15
「Wi-Fi 未接続」が表示される。	Wi-Fi アクセスポイントと未接続になっている。	接続するアクセスポイントに近い位置に移動し、Wi-Fi 電波の受信状況が良い状態で通話する。	p.14 p.15
送信ができない。 【音量】を回しても音が出ない。 「接続異常」が表示される。	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続が外れている。	スピーカーマイクロホンやイヤホンマイクの接続を確認する。	p.10
ユーザーやグループが切り替わらない。	キーロックになっている。	キーロックを解除する。	p.28
Wi-Fi に接続できない。 「Wi-Fi 未接続」が表示される。	接続するアクセスポイントの状態に問題がある。	接続先のアクセスポイントの電源が入っているか、アクセスポイント側の設定が正しいかを確認する。	–
	接続するアクセスポイントの設定と本機の設定があっていない。	Wi-Fi 接続に必要な SSID、セキュリティ、パスワードなどの情報を確認し、再設定して接続する。	p.19
Bluetooth※接続できない。	接続する Bluetooth 機器の電源が入っていない。	Bluetooth 接続する機器の電源を入れる。	p.25
	Bluetooth 機能の設定が「オン」になっていない。	Bluetooth 機能の設定を「オン」にする。	p.25
	接続したい Bluetooth 機器以外の Bluetooth 機器を接続している。	接続したい Bluetooth 機器だけを電源オンにする。	p.25

※ファームウェアバージョン「J 1.20.00」以降でサポートする機能です。ファームウェアバージョンは無線機情報モードから確認できます。《☞ p.29 を参照》

オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。

KNB-88L.....リチウムイオンバッテリー (2810 mAh)
KSC-87LCR.....連結充電台
KSC-45LSL.....連結充電台用 AC アダプター
KBH-20.....ベルトフック
KBH-21.....ベルトフック
KMC-55 .....スピーカーマイクロホン
EMC-13.....イヤホン付きクリップマイクロホン < VOX 対応 >
EMC-14.....イヤホン付きクリップマイクロホン < VOX 対応 >
EMC-15.....イヤホン付きクリップマイクロホン < VOX 対応 >
EMC-16.....イヤホン付きクリップマイクロホン < VOX 対応 >
KHS-37.....ヘッドセット (耳掛けタイプ) < VOX 対応 >
KHS-56BT※.....ワイヤレスヘッドセット < VOX 対応 >
KEP-6 .....イヤホン (φ 2.5)
KLH-219.....ハードケース
KSB-1 .....ショルダーベルト

※ファームウェアバージョン「J 1.20.00」以降で使用可能になります。ファームウェアバージョンは無線機情報モードから確認できます。《☞ p.29 を参照》

◆本機に使用できるオプションについては、追加されたり、生産が終了したりすることがあります。最新の情報についてはカタログなどをご覧ください。

仕様

機種名	KBX-P51
用途	IP 無線機
サポートする主な通信規格	LTE（ドコモ網 / au 網）
電源電圧	DC 3.4 V ～ 4.1 V
内蔵スピーカー出力	700 mW (10 % 歪)
使用温度範囲	-10℃ ~ +60℃
外形寸法 （突起部含まず）	幅 : 58.6 x 高さ : 96.3 x 奥行 : 30.7 mm（KNB-88L 使用時）
質量 （アンテナ・バッテリー装着時、ベルトフック含まず）	約 208 g (KNB-88L 使用時)
アンテナ端子	SMA-P
USB 端子	コネクタ：USB Type-C™ 充電電力：15 W (5V3A) 以下 Power Delivery 非対応
防塵・防水性能	IP54/ IP55/ IP67/ IP68
Wi-Fi	無線通信規格：IEEE802.11a/b/g/n/ac 周波数帯：2.4 GHz, 5 GHz 暗号化方式：WPA2-PSK/WPA2-Personal, WPA3-SAE/WPA3-Personal
Bluetooth ※	Bluetooth 対応規格：Bluetooth 5.0 対応プロファイル：HFP
GNSS	対応衛星：GPS/BDS/GLONASS/Galileo/QZSS/SBAS

※ファームウェアバージョン「J 1.20.00」以降で使用可能になります。ファームウェアバージョンは無線機情報モードから確認できます。《☞ p.29 を参照》

FOSS ライセンス

本機で使用する FOSS ライセンスについては、下記 URL または QR コードから「KBX-P51 ソフトウェア使用許諾契約書」をご参照ください。

https://manuals.jvckenwood.com/

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル	0120-2727-87
携帯電話からは、ナビダイヤル	0570-010-114
一部の IP 電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は	045-450-8950
FAX を送信される場合は	045-450-2308

住所	〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付日	月曜日～土曜日 (祝祭日および、弊社休日を除く)
受付時間	月 ~ 金曜日　9：30~18：00
	土曜日　9：30~12：00、13：00~17：30

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
- 修理などアフターサービスについては、下記 URL の弊社ウェブサイトをご覧いただくか、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

© 2026 JVCKENWOOD Corporation